

医療系廃棄物の捨て方

家庭から出る医療系廃棄物は、必ず医療機関に処分方法を確認し
適正に排出・処理してください！



原則

医療機関に持参する
往診医等が持ち帰る

医療機関の医師・看護師などの指示に従って、引き渡してください。



指定袋（オレンジ色）に
入れて出してください。



針は空容器に入れてフタをして、
必ず「危険ごみ」で出してください。

他者が触れても刺さらないように
してください。



「リサイクルプラ」「燃やせるごみ」などへの
混入は、絶対にやめてください。

誤った方法での排出は、収集員やごみ処理施設の作業員を
感染症に感染させる危険性があります。
正しい分別・排出方法を守ってください。

医療機関から、自身で処分するよう指示された場合 薬局などで自身が購入した場合

医療機関の医師・看護師などの指示や、購入した商品の取扱説明書に従って、次の表の
種別・注意点に沿って出してください。

品名	種別	排出時の注意点	
点滴バッグ	燃やせる ごみ	点滴バッグ内に残っている液を捨てて空にする。	
CAPD（自己腹灌流） バッグ		CAPD 廃液はトイレなどに流す。 血液や体液が付着した場合は、一度新聞紙で包むか、小さなポリ袋などに入れる。	
ストーマ（人工肛門）袋		ストーマ袋内の便は、トイレに流す。袋を捨てる場合は、中を空にしポリ袋などに入れる。	
カテーテル		液は抜く。	
紙おむつ		汚物はトイレに流し、取り除いてポリ袋などに入れる。	
ガーゼ・脱脂綿・ マスク		ポリ袋などに入れる。	
注射筒・ ペン型自己注射筒	針なし	筒内に残っている液を捨てて空にする。	
血糖自己穿刺筒	針あり	危険ごみ	空容器（薬の空容器、牛乳パック、ペットボトルなど）に入れ、フタをする。
注射筒・ ペン型自己注射筒	針あり		専用の針ケースに収めて、空容器（薬の空容器、牛乳パック、ペットボトルなど）に入れ、フタをする。



※↑の表に載っているのものにプラマークが付いていても、
「リサイクルプラ」では出さないでください。

詳細は
こちら



東広島市 廃棄物対策課

☎ 082-420-0926